

写真で綴る この1年

視察
&
行事から



8月6日 国営土地改良事業で農水省に陳情



8月24日
追手風部屋激励会にて遠藤閣と



8月7日 能登総合開発促進協議会 伊根町(丹後半島)視察



8月4日 宮沢賢治記念館にて



10月11日
第1回やけど宏明かがやき杯ゴルフコンペ

10月22日
商工労働公安委員会視察
(東京湾岸警察署)



11月2日
河北潟ふれあい
フェスタ

11月10日
いちいち会
環境省視察

選挙の年

2月



石川県知事選挙
(谷本正憲氏6選)

4月



津幡町長選挙
(矢田富郎氏再選)

11月



白山市長選挙
(山田憲昭氏初当選)

12月



衆議院議員選挙
(北村茂男氏4選)

やけど宏明

県政報告 Vol.4

発行者：やけど宏明事務所
発行日：2015年1月1日

県政

360度365日



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は選挙に明け暮れた1年でした。石川県知事選挙に始まり、津幡町長選挙、金沢市長選挙に白山市長選挙、最後は衆議院議員選挙と続きました。応援してきた候補者が良い結果を得られたことは嬉しい限りでした。ただ、衆議院議員選挙では、改めて戦いぶりが問われる結果となりました。

今年の春には統一地方選挙が控えており、私にとっても2期目に挑戦する選挙です。遅れをとることがないように、年頭からしっかりと準備し、勝利に向け一歩ずつ前進し、投開票日の4月12日までの3カ月半、気を抜くことなく走り続ける覚悟です。

また、2月末から当初議会も始まります。今回は予算委員会で、初めて1時間の質疑応答に挑戦することとなります。早いうちに質問内容の準備に取り掛かりたいと考えています。昨年は安全・安心の町づくりや環境問題、再生可能エネルギーやインフラ整備、河北潟干拓地農業や観光関係などの質問をしてきました。今回も様々な県政課題について質問します。

さて、3月14日、歴史的な1ページの幕開けとなる北陸新幹線金沢開業という100年に一度の転換期が迫っております。並行在来線「IRいしかわ鉄道」の開業も忘れてはなりません。そして5月17日、本県にとって2回目の開催となる全国植樹祭が行われます。天皇陛下をお迎えして開催されるこの式典に出席するためには、4月の2回目の洗礼に勝利しなければなりません。そのためにも、多くの方々の声に耳を傾けていきたいと思っておりますので、お時間のある方は事務所までお越し下さい。大歓迎いたします。

最後になりますが、皆様には更なるご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が良い年となりますようお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成27年1月

石川県議会議員 **焼田 宏明**

やけど宏明の公式HPを開設しています。

<http://www.yakeda.jp/>

ブログも
更新中!

やけど宏明の
県政360度365日



ぜひ、ご覧ください。



お近くにお越しの際は、
気軽にお立ち寄りください。

やけど宏明事務所

〒929-0327
石川県河北郡
津幡町庄ウ57-1
電話：076-288-7828
FAX：076-288-7827

駐車場あります。

河北
元気印
宣言。

自由民主党



津幡町のこの1年を見つめて

焼田：新年あけましておめでとうございます。昨年は知事選に始まり、町長選挙があり、秋には金沢市長選挙、白山市長選挙、暮れには衆議院議員選挙と続きました。

矢田：昨年を振り返ると、春に私自身も町長選挙があり、無競争で当選をさせていただいたことは、多くの町民の皆さんのご理解がいただけたのかなと思っています。去年の最大の出来事だったと思います。とにかくホッとしましたのと、新たな気持ちで執務に取り組んできました。秋には、友人である山田憲昭さんが意外な大差で白山市長に当選されたのもうれしかったですね。

焼田：私自身もこの春に2回目の選挙を控えています。2回目の選挙は厳しいといわれますが、地元・津幡をしっかり固めて、支援していただいている町議会議員や町民の皆さんの信頼を得る活動をしていけば、おのずと結果はついてくるのかなと思っています。

矢田：選挙前の3か月だけ一生懸命やるのではなく、日々4年間の活動の結果であるわけですから、議員は見えないところでも努力することが必要です。焼田県議は日頃からいろんな行事にも顔を出されているので、平常心で、闘志を燃やしながら戦って欲しいと思います。

焼田：矢田町長が“選挙をやるたびに強くなるんだ”と言っておられたことが印象に残っています。1期のような成績を得られるかが、ひとつの評価かなと



思っています。

矢田：選挙はその時その時、1回1回のもので。一喜一憂しないで戦っていけばいいのではないのでしょうか。

焼田：さて、いよいよ新幹線金沢開業が2か月後の3月14日に決まりました。同時にIRいしかわ鉄道も開業となり、津幡町にとっても大きなテーマです。

矢田：待ちに待ったという思いです。私が県議会議員の新人だった32年前、当時は北回り新幹線と呼ばれていて、着工しても何年もかかると言われたものです。構想から50年、やっと私たちが乗れる楽しみができました。また、津幡町でいえば「新幹線の見える丘公園」も開業までにトイレや駐車場の整備が完成する。ここへいろんな人が来られる楽しみもあります。

焼田：地元の足である並行在来線IRいしかわも、しっかりと守り育てる必要があります。

矢田：津幡駅も昨年暮れにエレベーターが完成しましたし、夏には駐輪場も完成しました。ずいぶん明るくなり、防犯対策にもなっています。運賃の面では、通学する高校生に定期券の補助も考えています。

また、上京する時にIRで金沢駅に行き、東京へ向かうことにもなり、新幹線利用イコールIRの利用となって欲しいものです。

焼田：近い将来、津幡駅に東口ができれば、ずいぶん津幡町の様子も変わってきます。

矢田：津幡駅の東口がで

きると住宅が出来たり、工業団地への道もできたり、開発も進むのではないかと期待もしているところです。

焼田：農業公園は来年28年から事業が始まります。名称も体験型観光交流公園と決まりましたね。

矢田：いろんな方に観光に来ていただく。いろんな体験をしてもらう。そんな思いで名前を付けてみました。昨年、この公園に「あんず園」を設ければどうか？との声があがりました。ちょっと大きめで、リンゴやナシのように生食にもなる種類で、甘さは控えめですが、糖度は13度もある。おいしいんですよ。それが一番の魅力なんです。とりあえず160本を町有地に植え、40本を倶利伽羅地区の農家に配布して栽培をってもらうつもりです。ニコニコットという種類をはじめ4種類のあんずがあり、加工できるので商品化にもつなげたい考えです。食べ物の津幡ブランド化づくりの一翼を将来的に担えれば良いと。また、町民の皆さんに市民農園で収穫の楽しみも体験してもらい、土に親しんでいただく、更にいちご狩りなど県内外の人にも広く利用していきたいですね。

焼田：収穫した野菜を使って、野菜スープなど津幡の米粉パンと合わせて町のレストランでバイキングとして出してもらう、といった工夫やアイデアも生まれてくると楽しいですね。

矢田：食べるものが人を津幡町に惹きつける「津幡B級グルメ版」になるといいのですが。

焼田：一方で、津幡町は科学の町を標榜しています。

矢田：まちなか科学館が出来、子供たちの夢が広がると同時に、今までなかった津幡町がどんな町かわかる（仮）津幡歴史資料館を27年度に津幡小学校の跡地に整備するつもりです。津幡の歴史を見てもらえることが大事で、科学館と合わせて商店街の活性化とならないか期待しています。

焼田：津幡バイパスの下にある加茂遺跡も国の史跡に指定されるとルーツの一つとなります。そして、森林公園が森林セラピー基地として、4月から運用されました。谷本知事は化けるかもしれない期待をかけていました。

矢田：森林セラピー基地については、地道にやっていけばいいと思います。能登旅行の帰りとか、旅のついでに金沢から20分、1～2時間だけ癒し体験をしてもらうような感じで津幡に立ち寄ってもらう。そこから話が広がっていくような気がします。

焼田：プールの建設や役場庁舎の建て替えなど、取り組むべき課題もあります。

矢田：いずれも予算的な問題があります。プールについては建設費に大きな支出が伴いますし、役場庁舎の老朽化による建て替えには国の補助はないので、自力でやらなくてはいけない。これも大きな支出が伴います。急ぐけれど急げないのが実情です。幸い、小中学校や体育館の耐震化は終わっており、公共施設では役場だけです。

焼田：県への一番の要望としては、国道8号津幡北バイパス・くりからバイパスの4車線化でしょうか。

矢田：そうですね。津幡北バイパス部分については用地も確保されていますので、なんとか一日も早い着工に結びつけたいです。老朽化が進む倶利伽羅トンネルの改修も必要です。小矢部市の桜井森夫市長とも連携を取りながら、国土交通省への要請活動をすでに何度も行っています。県議のお力もお借りして、早期着工の目途を立てたいですね。

焼田：わかりました。できる限りの努力をしてみたいです。小矢部のアウトレットモールへの道として、富山県もこちらから人を吸引したいでしょうし、そうなれば企業にとっても事業展開の拠点にもなります。

矢田：北陸3県に事業展開しているような企業にとっては津幡町が最適地ではないかと思っています。大いに期待しています。

焼田：今日はいろいろなお話をありがとうございました。

対談を終わって

これからも発展する津幡町を全力で応援していかなければとの思いを強くしました。私も精一杯の努力をしてみたいです。

やけどの 県議会レポート

平成26年 予算委員会 (2月18日) からの抜粋

いしかわ耕稼塾について

焼田 宏明 河北潟干拓地ではいしかわ農業人材機構の耕稼塾の修了生が活躍している。いしかわ耕稼塾は、現場ニーズに即した人材の育成、確保に取り組み、修了生が河北潟干拓地で新規就農するなど着実に成果を上げている。ここ数年の間において河北潟干拓地に就農した人は何人いて修了生は何人か。これまでの取り組みと今後の計画について聞く。

農林水産部長：自営就農者が20人、農業法人等に就業している者が31人となっている。新規就農者数は昨年度135人と過去10年間で最多で、その7割に耕稼塾での研修や法人就業へのあっせんなどで人材機構が関与しており、次代を担う人材の育成に大きな役割を果たしている。高度なマネジメント能力の習得を目指す法人幹部養成コースや女性農業者キャリアサポートセミナー、栽培技術の習得を目指す農業技術力向上実践ゼミを新設する。

猛禽類の生息について

焼田 宏明 河北潟干拓地は野鳥との共生を図りながらの農業生産を目指している。高木にとまり、餌である野ネズミを発見し捕獲するノスリやチョウゲンボウは増えてきているが、チュウヒやハヤブサなどを含め希少な猛禽類の生息状況はどうか。河北潟のシンボルとされるチュウヒは国指定絶滅危惧種とされ、十数羽に激減したといわれる。チュウヒが減るとネズミが増え作物が荒らされる可能性がある。河北潟のヨシの保全や復元について聞く。

環境部長：河北潟の猛禽類は11種が観察されており、数が多いミサゴは現在40つがいと増加している。チュウヒは毎年3羽から4羽のひなの巣立ちが確認されている。ヨシの保全や復元はヨシ原が野鳥などの生息空間になっていることや自然の水質浄化機能も有することから、河北潟の生態系や環境保全にとって重要と考える。西部承水路の一部で傾斜の緩い護岸の整備を行い、ヨシの復元を図る取り組みを行っているほか、河川の堆積土砂の除去や、湖岸堤防工事においてもヨシ原の保全に努めている。

焼田 宏明 河北潟野鳥観察舎は高床式のため高い位置から河北潟の湖面を眺めることができ、地元の野鳥愛好家に



はよく知られた隠れ家的スポットだと聞く。全国でも有数の野鳥の宝庫である河北潟については、ラムサール条約湿地にしてはどうかという意見もある。登録の見込みはどうか。

環境部長：河北潟は全国有数の渡り鳥の渡来地であるとともに、チュウヒを初め、冬季に渡来するノスリやミサゴなど多くの猛禽類が見られる。四季折々の野鳥が観察できる全国有数の野鳥観察地となっていることから、野鳥観察舎は多くの方々に利用されている。ラムサール条約湿地の登録条件は、2万羽以上の水鳥が生息できる湿地といった国際基準に該当することが前提。登録するためには埋立干拓や工作物の設置等について一定の制約がかかることとなる。加えて、地元住民などの同意を得る必要がある。

ゴミ 不法投棄について

焼田 宏明 河北潟東部承水路にかかる湖南大橋の下の潟の底には自転車や家電が不法投棄されていると聞く。山間部の林道を通ると、やはり不法投棄された廃タイヤ、家電、自転車などを見かける。県内における廃棄物の不法投棄の現状を聞く。不法投棄された粗大ごみの処理にどれぐらいの費用がかかっているのか。

不法投棄に対する検挙状況はどうか。不法投棄を防止する取り組みを聞く。

環境部長：県内の廃棄物の不法投棄は33件と減少傾向にある。生ごみや家電製品など家庭生活から発生した廃棄物が約8割を占めている。原因者の特定できない場合はさらなる不法投棄を招くおそれがあるため、やむを得ず市町が回収、処理しているが対策費は毎年概ね3,000万円に上る。不法投棄の未然防止には監視と啓発が重要である。警告看板や監視カメラの設置、職員によるパトロール、ヘリコプターによる空からのパトロール、隣県と連携した監視パトロールを行っている。さらに適正処理推進講習会の開催や優良な産業廃棄物処理業者を育成するセミナーも行っている。

警察本部長：平成25年中の県内における不法投棄事犯の検挙は35件37人。不法投棄された廃棄物はパソコン、テレビ等の家電製品や一般家庭ごみ等の廃棄物が33件となり、これらが不法投棄された場所は道路や駐車場等が28件、河川や山の中が7件あった。悪質事案の取り締まりを積極的に実施していく。

平成26年5月 第3回定例会 一般質問(6月6日)からの抜粋

石川県森林公園の振興について

焼田 宏明 4月29日、森林公園内で行われた県民みどりの祭典にあわせ、森林セラピー基地のグランドオープン記念式典が開催された。谷本知事の森林セラピー基地に対する期待度を聞く。公園内の三国山キャンプ場に9棟あるログハウスは老朽化している。セラピー基地のオープンを機にリフォームや増築・新築も含め検討すべきではないか。MISIAの森プロジェクトは生物多様性保全の重要性を訴えるため、アートを通じて豊かな森づくりを行う5年間の活動であり、丸3年が経過した。大自然の中でMISIAさんの歌声をぜひ聞きたいとの意見も多く届いている。プロジェクトの残り2年間弱の展開や5年間経過した後についてはどうなるのか。

谷本正憲知事：森林公園は県内で初めて森林セラピー基地の認定を受け、今年4月にその運営が開始した。森林公園は金沢に近接をしていること、多様な自然植生を有すること、自然に親しめる施設や野外スポーツ広場などが充実している。森林セラピストなどの人材育成、特色のあるプログラムの開発、シンポジウムの開催などの取り組みで支援をしていく。MISIAの森では植樹や下草刈りといった森づくり活動のほか、地元の英田小学校の児童による生き物調査や生き物の観察小屋の設置などさまざまな活動を行っている。MISIAさんにいしかわ里山サウンドウェイブという地元のラジオ番組に数回出演してもらい、そのすばらしさを理解していただく。

観光戦略推進部長：宿泊施設は森林公園三国山キャンプ場に9棟のログハウスがある。整備から25年が経過しており、修繕を行うなど維持管理に努めている。宿泊施設の増設、新築等は、整備に係る維持管理費に多額のコストを要することや地元の宿泊施設等との競合への配慮など整理すべき課題も多い。

AED まちかど救急ステーション制度について

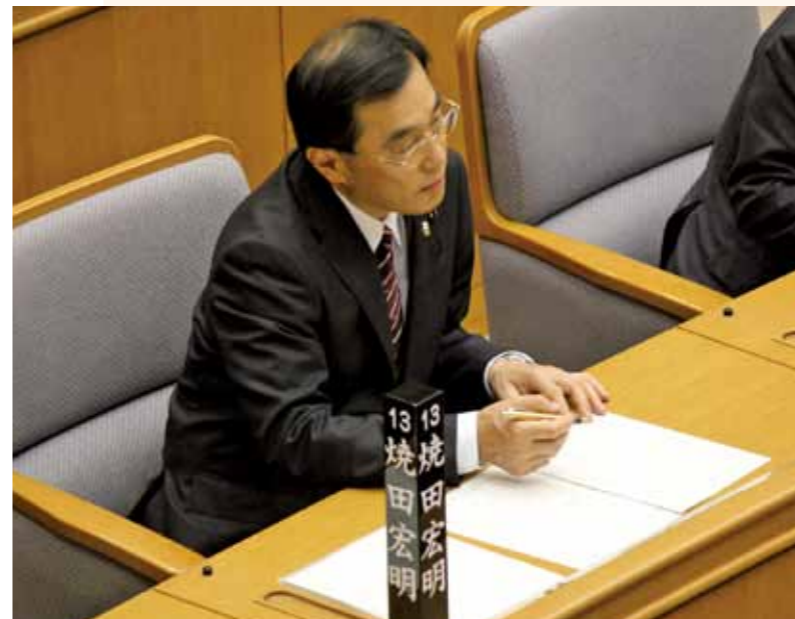
焼田 宏明 各市町に対してまちかど救急ステーション及びまちかど救急ステーション標章交付制度の普及、制定を支援していくべきで、運動会やスポーツ大会、野外活動などを開催する場合には救急箱と一緒にAEDも備える必要がある。スマートフォンのアプリに日本全国AEDマップがあり、AEDの設置登録されている施設などが一目でわかる。AED普及状況と登録などに向けた県の取り組みを聞く。

健康福祉部長：AEDの整備については、県として把握ができてきている公的な施設では1271台となっている。インターネットで全国のAEDの設置施設を公表している日本救急医療財団への登録を市町やAEDの販売業者を通じて働きかけてきた。同財団へのAEDの登録状況は、民間施設も含めて2676台と増加をしてきている。運動会やスポーツ大会等におけるAEDの備えは、小中学校や高校、スポーツ施設にはAEDが設置をされているので、その施設のAEDの積極的な活用を図っていく。

再生可能エネルギー利用促進について

焼田 宏明 再生可能エネルギーの利活用促進に、メタン発酵技術のいしかわモデルと下水汚泥から発生するメタンガスの活用推進がある。県犀川左岸浄化センターのメタンガス発電は下水道施設で発電し、電力を電力会社に売るのは全国初である。来年度には市町に小規模処理場での発電ノウハウを提供する予定と聞く。県内の下水道終末処理施設58施設中、既にメタンガスなどによる発電事業に参入している施設は何カ所あり、その稼働状況や売電状況を聞く。

谷本正憲知事：県ではこれまでもメタンガスを活用して発電を行っており、産学官の連携により小型で低コストのメタン発酵装置の開発に取り組んできた。実用化にめどが立ち、い



しかわモデルの新たなメタン発酵技術としてその普及を図ることにした。このメタン発酵装置は県内の企業が技術力を結集して全国に先駆け新たに開発をした。県内でメタン発酵により発電を行っている施設4施設あり、いずれも順調に稼働している。売電状況は、犀川左岸浄化センターでは8793万円、翠ヶ丘浄化センターでは708万円の収入を得ている。

テレビ番組などの誘致戦略について

焼田 宏明 来春からスタートするNHK連続テレビ小説が輪島市を主な舞台とする「まれ」に決まったが、津幡町では木曾義仲と巴を題材にした同ドラマの誘致活動を積極的に展開してきた。率直な感想を聞きたい。本県ゆかりの人物を主人公としたドラマ誘致など、テレビ番組や映画の撮影舞台、アニメの題材などに採用してもらうための戦略的な組織が必要ではないか。

平成26年9月 第4回定例会 一般質問(9月17日)からの抜粋

並行在来線対策について

焼田 宏明 北陸新幹線が開業する3月14日には、並行在来線IRいしかわ鉄道も開業する。利用者確保が最大の課題であり、津幡町では利用者の利便性向上と増加対策として津幡駅前で駐車場や駐輪場を整備したほか、地元特産品を駅利用者に配布するなど駅周辺のにぎわいづくりに取り組んでいる。通勤・通学など生活に密着しているIRいしかわ鉄道の運賃について聞く。

谷本正憲知事：並行在来線の経営は正直厳しい。運賃については1年目から5年目までは平均1・9倍程度、6年目以降は平均1・11倍程度の値上げとし、先行事例を大きく下回る水準に抑制した。利用者の約8割がJRなど他の路線との乗り継ぎ利用者であるから、初乗り運賃の負担増への対応が課題となっている。乗り継ぎ割引制度については、初乗り運賃が発生する約10キロメートル区間内で同程度の割引を適用するなど、負担増加が割引区間の平均で1・1倍から1・2倍程度に抑制できるめどがいった。

県民の安全・安心の確保について

焼田 宏明 広島県広島市北部の安佐北区や南区で大規模な土砂災害が発生し、73名の尊い命が失われた。予想もつかない異常気象に対応するため、詳細な地域情報を早急に伝達、知らせるシステムが必要である。今、各自治体から早急な導入が求められている通称Lアラートは、既に22都道府県が運用を開始しているが、本県は検討中である。早急に導入時期の決定や綿密なシステム構築を前向きに進めるべきだ。

危機管理監：災害情報共有システム—Lアラートのシステ

観光戦略推進部長：大河ドラマの誘致は富山、長野県が中心となり「義仲・巴」広域連携推進会議が設置された。県も参画をし、要望活動などに取り組んできた。再来年のNHK大河ドラマが長野県を舞台とした「真田丸」に決定したことは、近い将来の「義仲・巴」の大河ドラマ化が難しくなったものと残念に思っている。映画やテレビドラマ等の映像メディアを活用して地域の魅力を発信することは観光誘客や地域振興に効果がある。県では金沢市とともに金沢フィルムコミッションを設立し、映画やテレビ番組等のロケの誘致、支援を行ってきた。最近では「さいはてにて」、「武士の家計簿」、「花嫁のれん」などの映画、テレビドラマや多くの旅番組のロケが行われており、一定の成果を上げている。

ムはITを活用して災害などの緊急時に国や市町が気象情報や避難指示などの住民の安全・安心に係る情報をテレビ、ラジオ、携帯電話などを通じ迅速かつ確実に伝えようとするシステム。本年6月には県内での導入に向けLアラート導入検討連絡会を設置した。

野生鳥獣の保護管理について

焼田 宏明 県内の野生鳥獣状況は、特定の鳥獣の生息数増加や生息域拡大などにより被害が深刻化している。特にイノシシや鹿などの狩猟は重要な役割を担っている。県内の狩猟者数は減少傾向にあり、数年後には狩猟者が激減すると懸念される。県では年3回の狩猟免許試験を行っているが受験状況はどうか。また、イノシシの捕獲に携わる人材を増やすため市町の狩猟免許取得支援策を後押しする施策が必要ではないか。

環境部長：狩猟免許試験の近年の受験者数は昨年195人、今年度は既に212人が受験をして増加傾向にある。女性は昨年度9名、今年度は7人いる。また、狩猟免許保有者の現在の免許交付件数は1,479人、60歳以上の高齢の方が全体の60%近くを占める。県では免許取得者の確保のため試験の回数を年2回から3回に増やすとともに、狩猟免許試験の事前講習会、狩猟のPRに対して経費の助成を行っている。イノシシの捕獲数が増加する中、狩猟免許の一層の取得促進を図る。

河北潟干拓地及び周辺地域における農業水利施設の更新整備について

焼田 宏明 河北潟干拓事業により造成された揚水機場や排水機場などの老朽化が顕著となっている。特に揚水機場



はトラブルが多発し営農に支障を来すとともに、補修費用などの維持管理費が増加している。一刻も早い国営事業による農業水利施設の更新整備が必要であると考え、河北潟地区国営土地改良事業推進協議会を設置した。揚水機場については国営事業による更新整備の27年度の事業化を、排水機場については湛水被害軽減対策の実施を前提とした詳細調査事業の27年度着工を強く要望しているが、県の所見を聞く。

谷本正憲知事：河北潟干拓地内の揚水機場、築造後30年

以上が経過し老朽化が顕著になっている。特に夏場に突発的な故障が頻繁に発生し営農に支障を来しており、早期に更新整備する。また、近年の異常気象に現状の排水施設の能力を超えて農地、宅地等の湛水被害が発生し、対策を検討する必要がある。最重点課題として国へ強く要望を行い、国の27年度予算概算要求の中でいずれも新規地区として盛り込まれた。

北陸新幹線金沢開業に向けた治安対策について

焼田 宏明 北陸新幹線の金沢開業で治安の悪化について心配する声も聞かれる。警察においては交流人口などの増加に伴う犯罪の抑止対策、片町や金沢駅周辺などの繁華街対策、交通事故や交通渋滞対策などについてどのような対策を行ってきたのか、今後どのような対策を講じていくのか。

警察本部長：北陸新幹線金沢開業に向けて犯罪抑止対策の一層の向上を図るため、鉄道警察隊、金沢駅前交番及び香林坊交番の体制を強化している。鉄道警察隊は開業までに事務所を駅の構外から構内に移転する。繁華街対策として、悪質な客引き等を徹底して取り締まる。交通安全対策として、片町、香林坊地区、金沢駅周辺及び武蔵地区における違法駐車を積極的に取り締まるとともに、金沢駅周辺の交通渋滞を緩和するための具体的な協議を進めている。

議会での質問の様子はホームページから県議会のホームページにアクセスし、映像でご覧になれます。

写真で綴るこの1年

視察 & 行事から



2月28日 移動販売車出発式



4月28日 倶利伽羅さん八重桜まつり



4月29日 森林セラピー基地グランドオープン記念式典



7月8日 自民党県連津幡町支部訪問



7月8日 国営土地改良事業要望活動



5月13日 いちいち会 長野県視察 (長野新幹線車両センター)

8月4日 基幹水利施設管理協議会視察 (岩手県盛岡市)

